

(注 被害者のプライバシー保護のため、氏名は仮名にしています。またこの記録に関する提出証拠書類は全文黒字ですが、ここでは注意がある部分を赤字強調しています。)

## 岡山地裁提出証拠

(注 これは山本明子(仮名)さんの書いた手記です。ご本人の承諾を得てわかりやすくするために、最小限の字句の訂正を加えました。その他文章の初めには見出しを付けました。)

# 私へのひかり協会職員の暴言の数かず

もう前のこと、OさんとAさんが家に来た時もおなじことを言った。それからだいぶ後、事務所(ひかり協会)にて

Aさんが「これから先、ひかり協会に何を望むか、あったら参考のため聞かして欲しい、どんな考えか」  
私がちょっと不足を言った。

「いつまでも、こんなことばかりイヤなので、森永から直接もらえるようにして欲しい」と言ったら、Aさんが怒って

「皆で決めたこと、決定しているのに、なにゆー言う！ 頭わりーんか！ そんなことできるわけない、やれるわけない、誰のおかげで、ここまでなつとる、何んもわかつとらん」と言われた。

「ひとが遠慮して下手に出、フンフンと黙って聞いとるといい気になって誰も回りにおらんんだら手が出とる。頭の程度どのくらいか、頭を割って脳の中見てみたい。アイキューなんぼある言つてごらん！ 答えれんの！ あんたがここへ何をした、何にも一人でようするもんか。できもせんはず、何が気に入らんのか、何が不満か！ 不自由な体をもっと動かんようにしたろか……。あんた一人くらいおつてもおらんでも困らん。気に入らんのなら、ひかり協会から脱退し離れて関係ないようにしたら、辞めてしまえ！ 親がおらんようになったら分かる。どうこう言うてもお金はいる……。辞めれん、女は単純、月日が経つたら忘れる、怒るんはその時だけ」

Kさんのことも、お金の差額のこと色々あり、父がAさんを家へ呼んで「あんたが辞めえ」とおこつてもらった。あんなところ行くところじゃあないとIさん(職員)になったときいた。(Iさんには何も言われませんでした)

### 94年(平成6年)12月8日(木)食べ物のアンケートで自宅に来た日

Mさんが「事務所に出てくる人は皆それぞれそれなりにやりやります。程度が低いからな一たいへんです。明子さんもどの程度かなー」

「親は頼りにならんようになるのに、みよーたらわかるじゃろー。明子さん、医者ぎらい、そんなことばかりは聞いーとれん！ 自分勝手はさせない、いつまでも言わしゃーせんよ！ 自分の思うようになると思うとつたら間違い、40にもなって、森永と「ひかり」は切つても切れん、団結しとかんと森永が違う方へ向かんようにちゃんとしとかんと」

「どうしても言うことを聞けんのなら、自分の思うようにしたら、私には関係ないよ。調子が悪うても一応は文句いう、こっちの言うようにしとつたらええのに。悪いようにはせんのに、昔の古いこと、たいしたことない小さいこと、いつまでも根にもつとんじゃー！ なにかにねらわれたら……。おそろしい！

患者、被害者の親が頼む、頼む。皆、職員をたよつとんののに、頼るようしとるのに、あんた一人変わっ

## たことを言う」

「普通じゃーないのに、悪いくせに！ わかりやすーいうたら、自分のできんこと、親がわり、お手伝いしょーんよ。明子さんの所へお金がちゃんちゃん入る、当たり前、そういうのも、我々のような立場の者が動いて、森永と話しをつけ、毎月遅れたこともなく、今まで遅れたことは一回もない。遅れたら黙ってないはず、……親がうるさい。明子さんはどれくらい、ほかの人には……そんなことばかり考えてきた。どうしたらよいか、そんなことの毎日なのに、することはちゃんとしとる。したのに悪ういわれる事ない！」

「お母さんがお金の方はされとると思うから、わかるはず。自分ができないことは言わず、事務所の人が言ったから、こんなになった、こんなことにさせられたと責任を人に押し付け、自分が悪いくせに、責任転嫁し逃げるようじゃあいいけんと思うんよ」

「事務所は悪くない(遠回しにいう)相手が悪い、本人に責任、そんな人多いんよ！」

「一人では生きていけんのんじゃから人の世話にならんといけんのじゃろ。あんたに何ができるん、一般社会に出たらうけいれてくれると思うとん！ 相手にされんよ、普通じゃああなたにのに、障害があるのに、悪いのに！ こっちのこと聞けんのなら……」

「親に何かあった場合、本人が困るから事務所の方へ言いに来て誰も相手にせん！ しらんぷりする、される、助けない、泣くのは自分！ こういうふうにご注意するのも最後になる。明子さんと言わんようになる」

「親亡きあと、親がおらんようになったら、明子さんが一人生活できるか。町内付き合いできるか、聞いてみる。親と一緒にこのまま過ごすか、皆と同じようにするか、自分で自分の首をしめるようなことしよう！」

「両親そろっている時はいいけど、一人欠け、二人ともおらんようになった時姉妹がいつまでもめんどろみれんから、悪いけど施設へいってくれんかと言われるよ。明子さんのために言ようんよ。自分のいく道考えた方が……頭に入れとかんと、人がしてくれるからと言うて甘えたらいいけん！ 自分も手をかさんとせんといけん」

「赤い手帳(身体障害者手帳)あるん見せて、一人一人知らんといいけん。無理は言わん。私が明子さん知らんから、ちょっと付きおうたらわかる。私帰った後、何日かかっても、よく考えてみなさい」

## その後またこの日のことを思い出して書き足す (Mさんの発言)

- 1 親が元気で、今はおるからいいけど、いつまでも元気とは言えんじゃろ。親に何かあった場合本人が困るから事務所の方へ助けを求めて言ってきても、今まで自分の思うようにして来たんじゃから、本当に困った時、誰にも相手にされんようになる。事務所の方もしらんぷりする、される。親は頼りにならんようになってるのにいつも見ようたらわかるじゃろう！ 皆に世話にならんとやっついていけんのじゃろう。
- 2 赤い手帳あるん、見せて一、一人一人のこと知らんと……無理とはいわんけど
- 3 親がおらんようになったら、明子さんが一人で生活できるか。町内の付き合いは、山本明子(仮名)さんはどんな人か、よーう知らんといいけんし、聞いてみんといけんなー。
- 4 いつまでも自分勝手はさせないとのこと、そんなことばかり聞いとれんし、言わしゃーせんよ。40

にもなって、自分の思うようになると思ったら間違い。両親が、わがまま、自分の思うようにさせとる。こっちの言うようにとしたりええのに、調子悪うても一応は文句がある。昔の古いことをたいしたことない、小さなことを根にもっとんじゃ、どうしたらんじゃろう、どこでどうなった。

5 明子さんの所へお金がちゃんと入りようんも、まあ、当たり前じゃけど。いままで長いこと、それで来てる理由じゃ。そういうのも我々のような立場の者が動いて、森永と話しをつけ、明子さんにはどれくらい、ほかの人には……毎月遅れることもなくちゃんちゃんと入れとるじゃろ。いままで遅れたこと一回もない。お母さんがお金の方はされとると思うから、わかっとるはず。

6 森永と「ひかり」は切っても切れない。団結しとかんと森永が違う方へ行かんように。

7 自分が出来んこと、親がわり、お手伝いしょんよ。親より先に死んだらいいんじゃろう。

8 医者ぎらい、私がついて行こうか、もう若くないし、親より長ごう生きて健康でなけりゃあ、ひかりが世話しようの意味がない。としたりにつれ、どこか悪い所が出てくるし、患者で亡くなった人が何人かおられるし、診てもらってわるくない。

9 患者、被害者の親が皆、頼む頼むと職員を頼つとるのに、頼るようにしとんのに、一人変わったこと……、普通じゃないのに、悪いくせに！ やっぱり自分には、親と一緒にこのまま過ごすか？ 施設に行くか？ ひかりの中へいくか？ ほかの手がないじゃろう。色々話したけど私は自分の言うたこと忘れるんよ、でも自分で言ったこと間違っていないと思う。普通のこと。

#### また後から思い出したこと（Mさんの発言）

\* こっちのしょうる事、全然しらんじゃろう……、どうしてくれようか知らんじゃから、わからんようにしても、わかりやせんなあー。こっちにお金があるんじゃから、自分がみょーんよ、いらようからなあー、あんたらー、直接いらえんからなあー。

\* 顔も見たこともない、どんな人が入れてくれようか、わからん人から養われとんじゃー。私もその中の一人に入っとる！ そんなんがなかったら、生きとれんのれんのじゃー！ こっちは出しとうのうても引かれ、自然にここへ流れとんじゃーろうなあー。払うんがいやになるわー。

\* 施設に入ったら、こっちは金だけ送るだけ、一人面倒見ただけらくじゃー。入った所がみる。

\* 誰もあんたなんか評価しとらん。

\* いろんな仕事があるもんじゃー、人の金の世話せにゃーいけん、こっちが養なようようなもんじゃー。

\* 家におけるようなわけにはいかん、ひかりに出て来たら、ひかりの言うことをきかすよ！

\* 親の顔ばかりみて、世間知らず、そんなから自立ができんのじゃがー。

\* もう子供じゃねんじゃから、そのくらいのこと分かるじゃろう！ 40にもな って！

\* ひかりがクッションになつとるから、好きなことが言うとれる！ 間に何もなかったら、世間は冷たいもんじゃ。

\* 誰も聞く者おらん、いつまでもいようりなさい！ あの人どうしたん、何を言ようるん、同じことしかよう言わん、あれしか覚えとらんのんよ、相手出来んなー、言うて誰も相手にせんわ、ちいとおかしいんじゃーハハハ。

\* 車あてごうて、行こうや、帰ろうや言わんといけん。自分から何も出来んのじゃから。安定所へ行った